

レジメン名

CP-RT

出典 Jpn J Clin Oncol 2004;34(10)

実施部署区分

☒入院 ☐外来 ☐処置

対象疾患

食道癌

☒初発・進行・再発
☐補助療法(術前・術後)
☐

1コース目投与開始基準

WBC	4000/mm ³ 以上	Hb	10.0g/dL以上
PLT	10万/mm ³ 以上	sCR	1.2mg/dL以下
BUN	25mg/dL以下	CLcr	60mL/min以上
T-bil	1.2mg/dL以下	AST	80IU/L以下
ALT	90IU/L以下	PaO ₂	70mmHg以上

投与減量の基準(化学療法)

sCR	1.3mg/dL以上、もしくは CLcr60mL/min未満	CDDPを50%へ減量	
ANC※	1000/mm ³ 未満	Hb※	8.0g/dL未満
PLT※	5万/mm ³ 未満	T-bil※	3.6mg/dLを超える
ALT※	200IU/Lを超える	AST※	225IU/Lを超える

※血液毒性については出典に記載がないため、主要な項目についてGrade3で設定
1段階減量: 5-FU 500mg/m², CDDP 50mg/m²
2段階減量: 5-FU 350mg/m², CDDP 35mg/m²

投与中止の基準(化学療法)

sCR	2.5mg/dL以上、もしくは CLcr40mL/min未満	CDDP中止
-----	-----------------------------------	--------

投与中止の基準(放射線療法)

WBC	2000/mm ³ 以下	PLT	5万/mm ³ 以下
-----	-------------------------	-----	-----------------------

上記、3週間以内WBC≥3000/mm³, PLT≥7.5万/mm³に改善されたら再開

1コース期間

28日

(次のコースまでの標準期間)

総コース数

2

2コース終了から4週間後以降
追加化学療法2コース実施可

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1, d8等)
フルオロウラシル(持続静注)	700mg/m ² 1000mg/m ² まで増量可	輸液計960mL	24時間	day1-4
シスプラチン	70mg/m ²	生食計 500mL	2時間	day1
放射線	1.8Gy	合計50.4Gy		1サイクル目day1～計28回で終了 照射例: day1-5, 8-12, 15-19, 22-26, 29-33, 36-38

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①輸液500mL (1時間) ②輸液500mL (1時間) ③デキササート9.9mg+アロキシ0.75mg/バッグ(15分) ④ソルデム3A 500mL+硫酸Mg 20mL(1時間) ⑤マンニット15% 500mL(1時間) ⑥シスプラチン70mg/m ² +生食計500mL(2時間) ⑦ソルデム3A 500mL+フロセミド20mg(90分) ⑧生食50mL(フラッシュ用) ⑨フルオロウラシル700mg/m ² +輸液計960mL (24時間持続)
day2-4 ①フルオロウラシル700mg/m ² +輸液計960mL (24時間持続) 生食1L(24時間持続) <側管> ①'デキササート6.6mg+生食50mL(15-30分)
day5 ①生食50mL(フラッシュ用)
《内服》 day1-3 アブレピタントカプセル(day1: 125mg、day2-3: 80mg) day1はシスプラチン投与1時間前に内服
《放射線》 1サイクル目 day1-計28回 1.8Gy/day 計50.4Gy